



各種エーミング対応

<p>日産車</p> <p>アラウンドビューモニター</p> <p>カメラキャリブレーション(フロントカメラ)</p> <p>ステータス 確認済</p> <p>1:距離 0</p> <p>2:距離 0</p> <p>3:距離 10</p> <p>拡大/縮小 0</p> <p>ENTER/EXIT: 終了</p>	<p>スバル車</p> <p>アイサイト</p> <p>アイサイト作業サポート</p> <p>画像表示/切替</p> <p>パラメータの選択</p> <p>カメラの補正</p> <p>カメラの向き(上/下/左/右)</p> <p>調整値クリア</p> <p>リセット/ファクトリリセット</p> <p>実行エーミング</p> <p>ENTER: 選択 EXIT: 戻る</p>	<p>BMW車</p> <p>走行エーミング</p> <p>キャリブレーション状態表示</p> <p>キャリブレーションのステータス</p> <p>キャリブレーションの進行</p> <p>100.00%</p> <p>ENTER/EXIT: 終了</p>	<p>ダイハツ車</p> <p>ステレオカメラ</p> <p>ステレオカメラ光軸調整</p> <p>ステレオカメラ調整が完了しました。</p> <p>10 OFFして3秒経過後に10 ONにして下さい。</p> <p>ピッチ角ズレ [+0.47] °</p> <p>ヨー角ズレ [+0.99] °</p> <p>ロール角ズレ [-0.10] °</p> <p>ENTER/EXIT: 終了</p>
---	---	--	---

自ら引かれたラインとスキャンツール入力値によるラインをアラウンドビューモニター上の画像にて合わせる作業です。

アイサイトカメラ調整後に実車走行にてデータ確認を行います。

新型Z4(トヨタスプロアOEM)の走行エーミングです。

スマートアシストIII光軸調整です。

<p>トヨタ車</p> <p>インテリジェントクルアランスセンサー(ICS)</p> <p>データモニター</p> <p>1:11距離 0.04m</p> <p>2:11距離 2.50m</p> <p>3:11距離 2.50m</p> <p>4:11距離 2.50m</p> <p>5:11距離 2.50m</p> <p>6:11距離 2.50m</p> <p>7:11距離 2.50m</p> <p>8:11距離 2.50m</p> <p>9:11距離 2.50m</p> <p>10:11距離 2.50m</p> <p>11:11距離 2.50m</p> <p>12:11距離 2.50m</p> <p>13:11距離 2.50m</p> <p>14:11距離 2.50m</p> <p>15:11距離 2.50m</p> <p>ENTER: 実行 EXIT: 戻る</p>	<p>日野車</p> <p>FCM前方画像認識センサ光軸設定</p> <p>光軸調整</p> <p>光軸調整が完了しました。</p> <p>キーの操作を行おうと、プザーが鳴ります。</p> <p>ENTER: 次へ</p>	<p>ホンダ車</p> <p>ホンダセンシングカメラエーミング</p> <p>サービスマニュアルを参照してください</p> <p>1: 0.00m <横> -10.00m</p> <p>2: 0.00m <横> -10.00m</p> <p>3: 0.00m <横> -10.00m</p> <p>4: 0.00m <横> -10.00m</p> <p>5: 0.00m <横> -10.00m</p> <p>ENTER: 選択 EXIT: 戻る</p>	<p>トヨタ車</p> <p>前方レーダー光軸調整</p> <p>前方レーダー光軸ずれ量確認</p> <p>データの読み出しが完了しました。</p> <p>前方レーダーの光軸の角度ずれ量は以下の通りです。</p> <p>水平方向 差 0.2°</p> <p>垂直方向 差 0.1°</p> <p>ENTER/EXIT: 終了</p>
--	--	--	---

センサーセンサ角度調整後、ハンバーにあるそれぞれセンサからの距離確認を行います。

日野デュロ光軸調整完了画面です。

カメラ高さ設定値番号を入力します。

リフレクタ設置位置のずれ量の確認が入ります。

<p>スズキ車</p> <p>デュアルセンサーブレーキサポート</p> <p>エーミング調整</p> <p>以下の項目の値が正しい事を確認してください。</p> <p>カメラターゲットの距離: 1500.0 mm</p> <p>ターゲットの長さ: 1800.0 mm</p> <p>カメラと前輪軸線の距離: 627.0 mm</p> <p>カメラのオフセット: 21.2 mm</p> <p>カメラの高さ: 1319.0 mm</p> <p>ターゲットと車体中心線の距離: 1025.0 mm</p> <p>ENTER: 実行 EXIT: キャンセル</p>	<p>三菱ふそう車</p> <p>レーダー走行アライメント</p> <p>走行アライメント</p> <p>上下角度: 2.4°</p> <p>左右角度: -0.4°</p> <p>センサー状態: 00%</p> <p>ステータス: 調整中</p> <p>EXIT: 中止</p>	<p>三菱車</p> <p>マルチアラウンドモニター</p> <p>フロントカメラ</p> <p>キャリブレーションフェーズ1</p> <p>キャリブレーションフェーズ2</p> <p>キャリブレーションフェーズ3</p> <p>キャリブレーションフェーズ4</p> <p>キャリブレーションフェーズ5</p> <p>キャリブレーションフェーズ6</p> <p>キャリブレーションフェーズ7</p> <p>キャリブレーションフェーズ8</p> <p>キャリブレーションフェーズ9</p> <p>キャリブレーションフェーズ10</p> <p>キャリブレーションフェーズ11</p> <p>キャリブレーションフェーズ12</p> <p>キャリブレーションフェーズ13</p> <p>キャリブレーションフェーズ14</p> <p>キャリブレーションフェーズ15</p> <p>キャリブレーションフェーズ16</p> <p>キャリブレーションフェーズ17</p> <p>キャリブレーションフェーズ18</p> <p>キャリブレーションフェーズ19</p> <p>キャリブレーションフェーズ20</p> <p>ENTER/EXIT: 終了</p>	<p>マツダ車</p> <p>FSC(フォワードセンシングカメラ)</p> <p>静止エーミング</p> <p>ターゲットから前輪中心までの距離</p> <p>2022</p> <p>ENTER: 決定 EXIT: 戻る</p>
--	--	---	---

エーミング調整時の入力値確認画面です。

走行時に進捗状況を確認します。

それぞれのカメラのキャリブレーションを行います。進捗を見ながらフェーズ完了確認を行います。

走行エーミングと静止エーミングがあります。静止エーミングではターゲット距離確認が必要です。

ALL IN ONE ~ 国産乗用車・国産トラック・輸入車の診断をこの1台に集約。

Diagnostic Tool TPM-5

特定整備認証ツール



求められるものを答え続ける大切さ



- 本体仕様**
- CPU : ARM Cortex M7 216MHz
 - ROM(OS) : 512KB
 - ROM(AP) : 8GB(Internal Flash eMMC)
 - RAM : 256Mbits + 256Kb
 - OS : FreeRTOS
 - 電源電圧 : 10-32VDC
 - 時計用バッテリー : リチウム3.0V 50mAh
 - LCDモニター : 5.0インチ (800 RGB×480 pixels) TFTカラー液晶
 - 車両I/F : High Speed CAN, Low Speed CAN, Single Wired CAN, ISO-9141, ISO-9141-2, KWP2000, SAE-J1708, J1850(PWM/VPW), Generic (pull-up,UART × 2), DDL, MMC
 - プリンタI/F : Bluetooth BR/EDR + BLE 4.1
 - PC用I/F : USB2.0 micro-B(OTG) high-speed
 - 本体操作キー : 6個(ENTER,EXIT,↑,↓,←,→)
 - 使用温度範囲 : 0~50°C
 - 保存温度範囲 : -20~70°C
 - 保存湿度範囲 : 20%RH~85%RH
 - 本体寸法 : 240(H)×145(W)×50(D)mm
 - 本体重量 : 412g



セット内容



※セット内容は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。



<p>Bluetoothミニプリンター</p> <p>自己診断結果やデータ表示を印刷してお客様にお渡しすることができます。ロール紙の幅もワイドになり、見やすくなりました。(ロール紙 80mm×30m)</p> <p>[MP-B30]</p>	<p>タイヤプレッシャーセンサアクティベーションツール</p> <p>タイヤ圧力センサの電池寿命による交換時やタイヤローテーション後などのセンサ登録に必要です。TPM-5と併用して使用します。※日産車専用</p> <p>新型スカイライン(V37)対応 ・エルグランド(E52) ・フーガ(Y51) ・GT-R(R35)</p> <p>[VT15]</p>
---	--

<p>シガーケーブル用ユニオアダプター</p> <p>バッテリーより直接電源を供給する場合に、付属品のシガーケーブルと一緒に使用します。</p> <p>[TPM-C2]</p>	<p>いすゞ用3P/10P/20Pレトロアダプター</p> <p>いすゞ車の旧規格コネクタ用です。</p> <p>※フォワード、ギガ(2006年頃まで)及びバスの診断をする際に必要です。</p> <p>[ISUZU-RETRO]</p>	<p>日産用14Pレトロアダプター</p> <p>日産車の旧規格コネクタ用です。</p> <p>[NSN-14P]</p>
---	---	--

※本仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

TPM-5とBluetoothでつながる診断レポート

RemoteDiag 無料アプリ remotediag

全ての診断操作をスマホ・タブレットからリモートで行える

●愛車診断アプリ(Android専用)でメンテナンスレポートを作成できます。

Diagnostic Tool TPM-5

特定整備認証ツール

大変見やすい
大型5インチ
TFTカラー液晶採用

FreeRTOS OSにての
クイック起動

★日本語・英語の
言語選択が可能です。



背面に折りたためる
スタンド



スリム形状化で
片手操作を実現

国産乗用車、国産トラック、
輸入車の診断全てをこの1台に

All In One

▶ 先進運転支援システム対応待たなし

Check!
車検にも

今後は点検整備記録簿にスキャンツール使用項目が反映される流れです。それぞれの警告灯点検や車検時のTBO(タイヤ、バッテリー、オイル交換)作業などスキャンツールは整備のサポートツールとして、より一層活躍します。



Check!
板金にも

先進運転支援システム(ADAS)搭載車両の比率はますます増え、カメラやレーダが正常に動作しているかの確認は勿論のこと、グリル、エンジンフード、バンパー、フロントガラスなどの脱着交換時の調整は最重要課題です。



特定整備は新しい認証が必要になる作業「電子制御装置整備」のみではなく現在の「分解整備」も含まれます。認証要件としてスキャンツールの設置を義務付けられています。

求められるものを答え続ける大切さ

● VIN(車体番号)コード読取、自動診断ソフト起動、メーカーや車種選択なく診断項目へジャンプを実現

※VINコードを設定されている国産乗用車種に限ります。
また、診断ソフトによってジャンプ対応項目は異なります。

特殊機能標準装備

かつてない夢のような機能を満載装備しました



TPM-5本体をOBDコネクタに繋いでいただき、後は手順に沿って進んでください。お客様にバッテリーの状態をお伝え出来ます。

簡易バッテリーテスト	簡易バッテリーテスト	簡易バッテリーテスト
比較電圧を測定中...	バッテリー電圧: 13.30 V 発熱電圧: 13.27 V 充電電圧: 13.20 V	車の充電システムは良好です。定期的に点検してください。
EXIT: 中止	ENTER: 次へ EXIT: 中止 ＜バッテリー診断結果＞	ENTER: 印刷 EXIT: 終了



車検ビジネスにはバッテリー、オイル、タイヤなどの交換作業は重要です。メンテナンスモードではスキャンツール使用項目を集約しました。

メンテナンスモード	HVバッテリー	HV電池点検
項目: 1. 故障コード読取 2. DPF関連データの表示 3. DPFデータリセット 4. DPF強制再生 5. 強制再生後のDPF関連データ表示	HV電池点検	HV+17V 最小電圧: 16.23 V HV+17V 最大電圧: 16.28 V HV+17V 平均電圧: 16.25 V HV+17V 変動電圧: 16.25 V HV+17V 変動電圧: 22.50 V HV+17V 変動電圧: 22.50 V HV+17V 変動電圧: 22.54 V HV+17V 変動電圧: 22.50 V
ENTER: 選択 EXIT: 戻る	ENTER: 選択 EXIT: 戻る	ENTER: 印刷 EXIT: 印刷

＜HV電池点検ブロック電圧＞



DPF作業完了にはひとつひとつの項目を選択し実行する必要があります。ここに改良を加え項目ごとの連携を可能にしました。強制再生簡素化を実現。

- 故障コード消去
- 故障コード読取
- DPF関連データの表示
- DPFデータリセット
- DPF強制再生
- 強制再生後のDPF関連データ表示

ENTER: 次へ EXIT: 中止



エーミング作業の効率化を実現しました。エーミングが完了した証明証発行がPC接続と共に可能になりました。エビデンスとして保険会社への提出に役立ちます。またエーミング作業サポート、走行後のデータモニター確認など項目がまたがり面倒な作業を一連の流れで行えるようになりました。

＜エーミング作業証明書＞



ADAS搭載車カメラ・レーダー光軸調整のエーミング作業や部品脱着時の学習などあらゆる作業に対応しています。



ECUの数が非常に多いCAN車両では全てのシステムの診断が重要です。



車両の設定変更が可能なカスタマイズ機能を備えています。オートライト感度調整、リアワイパーパース運動設定などお客様のご要望に応じたきめ細かいサービスが行えます。



ライブデータの全選択、個別選択、保存機能があります。



DTC検出時の実測値を保存表示します。



シミュレーションテストを行うことで故障診断の作業効率をより高めめます。



故障診断にて保存したデータの再生・削除を行うことが可能です。



国産乗用車、国産大型トラック、輸入車
全20メーカーに標準対応

乗用車8メーカー、大型車4メーカー、輸入車7メーカー

- 国産乗用車
 - ・トヨタ/レクサス
 - ・日産/インフィニティ
 - ・ホンダ/アキュラ
 - ・三菱
 - ・スズキ
 - ・ダイハツ
 - ・マツダ
 - ・スバル
- 国産トラック・バス
 - ・いすゞ
 - ・日野
 - ・三菱ふそう
 - ・UDトラックス
- 輸入乗用車
 - ・フォルクスワーゲン
 - ・アウディ
 - ・メルセデスベンツ
 - ・BMW
 - ・MINI
 - ・アルファロメオ
 - ・フィアット
- グローバル OBDII対応メーカー
 - ・パワートレインのみ



ソフトのアップデートは、とても簡単!

お客様のご購入後、無償アップデート(1年間)

※1: アップデート期間終了後、1ヶ月以内にお申込みいただく必要があります。

無償アップデート期間終了後ソフトウェアの更新をしていただく事で、本体保証も自動的に継続(※1)になります。

こんなに簡単アップデート 定期的にアップデートすることでいつも最新の状態にできます。



1 付属のmicroUSBケーブルでTPM-5本体とパソコンを繋ぎます。(PC接続モード) 2 アップデートソフトを起動します。 3 アップデートチェックをクリックします。 4 アップデート完了です。

※ご購入時にはユーザー登録が必要です。
インターネット接続ができるPC環境をご用意ください。

詳細はホームページより www.toolplanet.jp